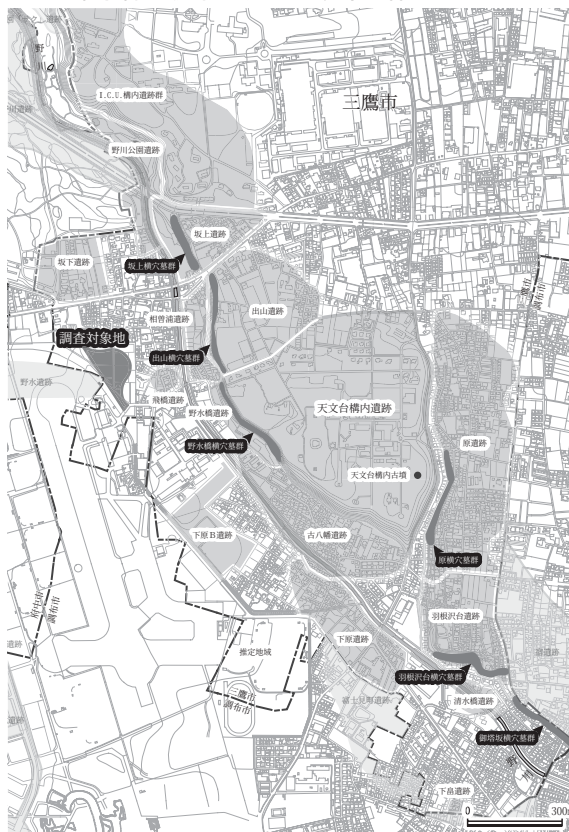


武蔵野の森公園整備工事に伴う 埋蔵文化財試掘調査

東京都三鷹市大沢 武蔵野の森公園D地区



調査対象地位置図



隅丸長方形の陥し穴（4区：縄文時代）



コンクリート構造物（7区付近：昭和期）

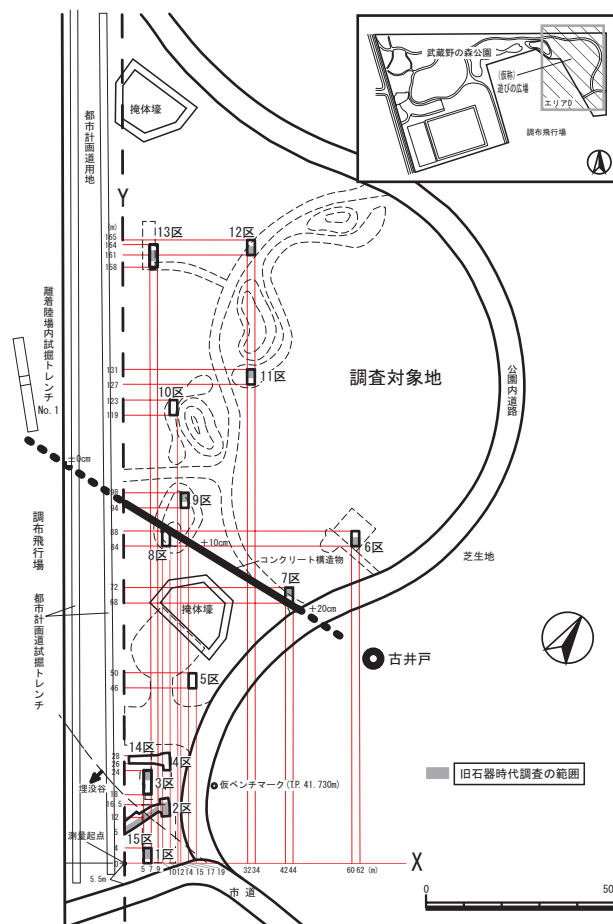
発掘調査の概要

三鷹市大沢六丁目地内に計画された「武蔵野の森公園」のうち「(仮称)遊びの広場」の整備工事に伴い、埋蔵文化財の試掘調査が行われました。

調査対象地内に設定された1～15区の調査区のうち、4区では陥し穴1基が検出されました。隅丸長方形の平面で、底面に数基の小ピットが確認できました。充填土から、縄文時代の遺構と捉えています。

7区付近では、調査地を東西方向に横断する、2条の平行なコンクリート構造物が確認されました。旧日本軍の施設があった頃の給水管埋設跡と考えられます。

15区では「埋没谷」が検出されました。立川段丘面に古多摩川が流れていた時代の谷地形で、数万年の間に埋没して、現在では平坦地になっているものです。谷に堆積する土や、谷肩部のローム層を観察し、一帯の微地形の復元を行いました。

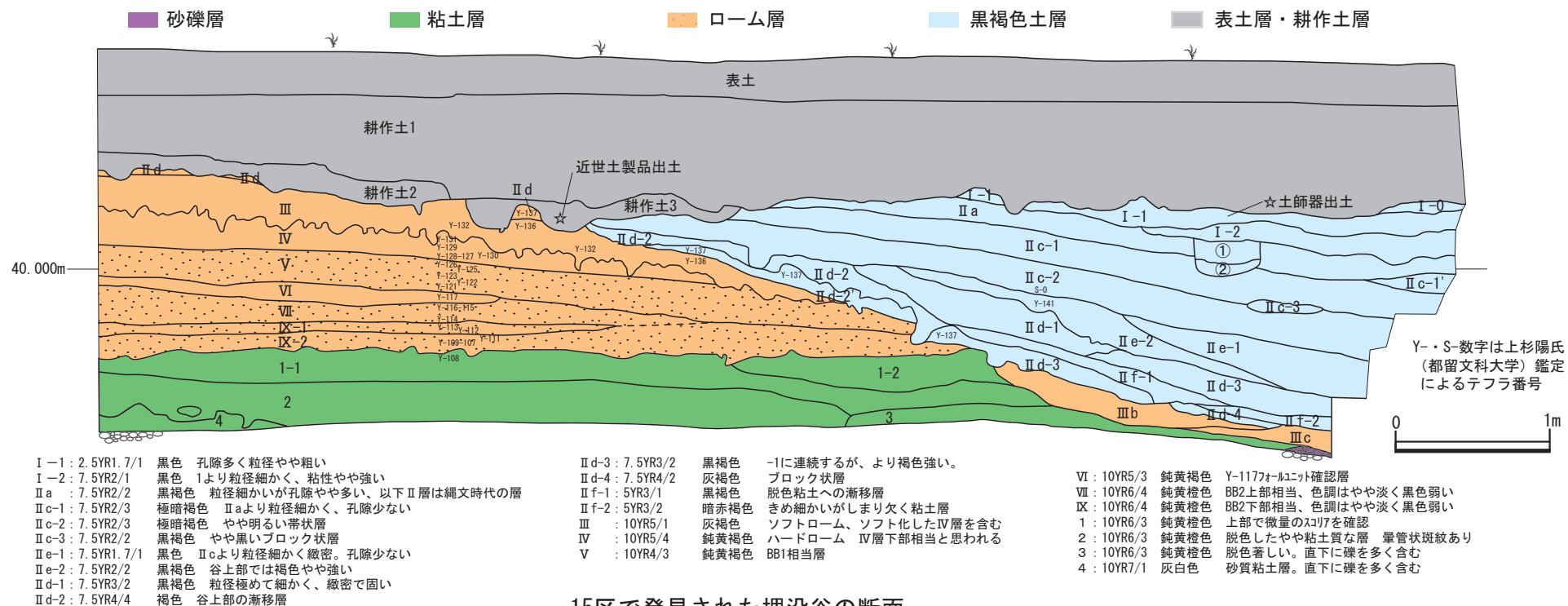


調査区（1～15区）の配置（点線は工事予定範囲）

北
東 ←



⇒ 南
西



15区で発見された埋没谷の断面